

マンボウは、大きな体と独特の体型が特徴の海水魚です。体は側面からみると円盤型、正面からみると紡錘型をしています。背びれと尻びれは長く発達し、体の後部から上下に突き出しています。多くの魚が持つ尾びれと腹びれは持っていません。

最大全長は約3mで、これらの個体をウシマンボウ、全長1mから3m近くまでの個体を従来のマンボウと言うそうです。

そんなマンボウですが、ネット上では「海底に潜水して寒さのあまり死んでしまう」とか、「皮膚が弱すぎて触っただけで痕がつき、その傷が原因で死んでしまう」「朝の太陽光を浴びると強過ぎて死んでしまう」などの最弱伝説があります。そこで、そんな伝説

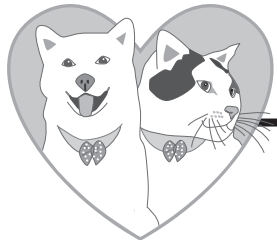
の真偽を調べてみました。まず二つ目は「海底に潜水して寒さのあまり死んでしまう」というもの。マンボウは熱帯・温帯の海に広く存在しているといわれますが、最近では生息の場が深海にまで及んでいることがわかってきました。

発信機を付けた追跡調査で、マンボウは生息する水深を一定させず、表層から水深800m程度までの間を往復していることが明らかになっています。25%程度の時間を表層で過ごす個体がいる一方で、水深200m以上の深層にいる時間が長かった個体がいるらしいのです。それらをふまえて、この二つ目の伝説はウソということになります。

二つ目の伝説は「皮膚が弱すぎて触っただけで痕が

松波動物病院分院
ペットアニマルクリニック瀬戸
トリマー 雨宮 遙

愛するペットのために…Vol.394



動物医のアドバイスダイアリー

【マンボウ最弱伝説】

つき、その傷が原因で死んでしまう」というもの。マンボウの皮膚の表面はザラザラしていて固いですが、人が強く触ると痕がついてしまうそうです。

傷が治りにくいため、そういった箇所から感染症になって死んでしまうこともあるようですが、他の魚と比べて極端に弱いということとはなさそうです。そう考えると、二つ目の伝説は少し大きくしすぎたところもありますが、あなたがウソではないということでしょう。

マンボウの最弱伝説は、どれも話を大げさにしたものばかりでした。ネットの情報はウソか本当かわからないものが多いので、実際に自分の目で確かめることが大切ですね。

■取扱車種

クラウン(マジェスタ・ロイヤル・アスリート・セダン)、86、アリオン、MIRAI、SAI、プリウスPHV、プリウス、プリウスα、アクア、エスティマハイブリッド、エスティマ、エスクァイア、シエンタ、ポルテ、アイシス、アベンシス、ランドクルーザー・プラド、FJクルーザー、センチュリー、サクシード、ダイナ、コースター、コムス

お客さま相談テレホン

0120-252-666

あなたの街の
愛知トヨタ
SINCE 1935

www.aichi-toyota.jp